

Q8 米軍に起因する騒音問題や環境問題について教えてください。

A

沖縄県における広大な米軍基地の存在により、県民の生活環境や自然環境への影響が懸念されています。

なかでも、日常的に発生する航空機騒音は、基地周辺住民の生活環境に大きな影響を与えています。

平成27年度に沖縄県及び関係市町村が実施した航空機騒音測定結果によると、嘉手納飛行場周辺では21測定局のうち8局で、普天間飛行場周辺では15測定局のうち1局で環境基準値*を超過しており、これらの9局では、継続して基準値を超過しています。

キーワード

※環境基準値・・・環境基本法の規定に基づく騒音に係る環境上の条件につき、生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい航空機騒音に係る基準

環境基準値を超過している測定局の調査結果を抜粋したものが下の表です。

■平成27年度航空機騒音測定結果(抜粋)

| 飛行場 | 測定箇所 | 1日あたりの騒音発生回数 | 最大ピークレベル | 平均ピークレベル |
|----------|----------|--------------|----------|----------|
| 嘉手納飛行場周辺 | 北谷町砂辺 | 62.2回 | 117.7dB | 93.5dB |
| 普天間飛行場周辺 | 宜野湾市上大謝名 | 31.1回 | 120.8dB | 88.9dB |

これらの地点では、最大ピークレベルで飛行機のエンジン近くと同程度の騒音が、平均ピークレベルでも騒々しい工場内と同程度の騒音が発生していることとなります。

| デシベル | 騒音の目安 |
|------|--------------|
| 120 | 飛行機のエンジンの近く |
| 110 | 自動車の警笛(前方2m) |
| 100 | 電車が通るときのガード下 |
| 90 | 騒々しい工場の中 |

※環境庁大気保全局編「騒音規制法の解説」より

また、日米両政府は、22時から6時までの間の飛行は、米国の運用上の所要のために必要と考えられるものに制限することに合意をしていますが、両飛行場周辺では、同時帯においても広範囲で騒音が測定されるなど、実効性のある航空機騒音の軽減措置が講じられているとは言えない状況です。



琉球新報社提供

普天間飛行場に配備されているオスプレイ



久場 悟氏提供

嘉手納飛行場に飛来した外来機(F-16戦闘機)



極東最大の米空軍嘉手納飛行場